

第21回日本褥瘡学会学術集会 チーム医療推進委員会企画  
第2回：創傷管理関連特定行為研修修了者フォローアップセミナー  
アンケート結果

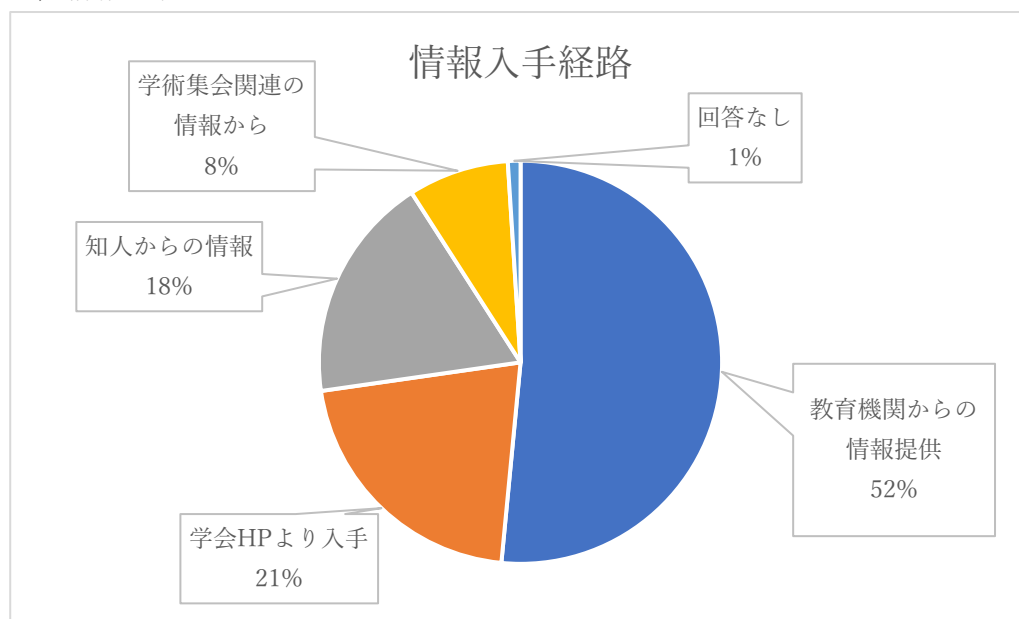
参加者 99 名中 99 名より回答（回答率 100%）

事前登録者 105 名中 97 名参加 当日参加 2 名 計 99 名が参加し開催

セミナーの内容：特定看護師に求められること 溝上祐子先生  
壊死組織の除去・陰圧閉鎖療法について 寺師浩人先生  
（安全に実施するために知っていただきたいこと）  
特定看護師からのアドバイス 松岡美木先生  
質疑応答

1. フォローアップセミナーに関すること

1) 情報入手の方法



2) 情報提供や申し込み方法などに関するご意見ご要望など

ご意見・ご要望：教育機関からのメール配信でよかった

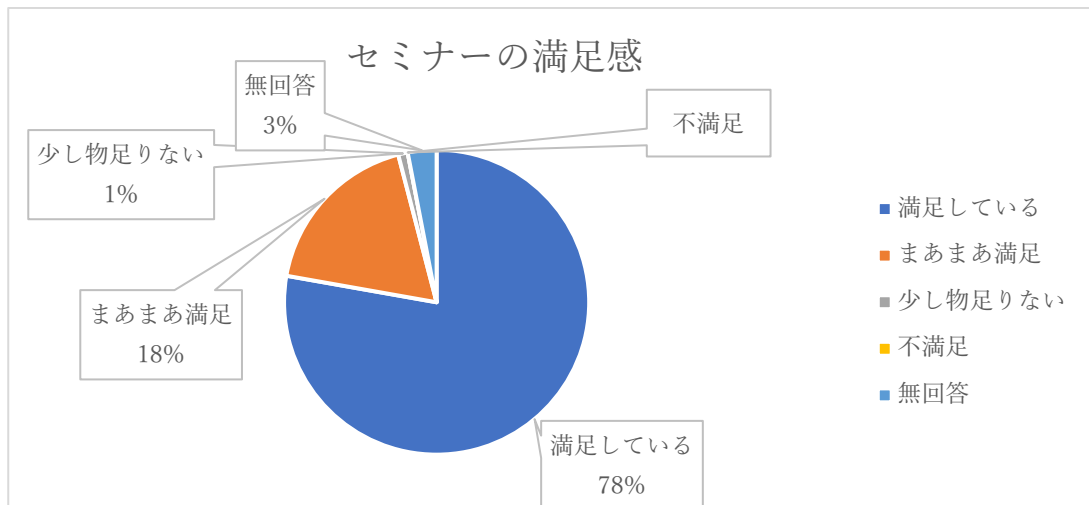
ホームページからの申し込みでよかった、簡単だった

学術集会開催時のフォローアップセミナーで参加しやすかった

学術集会の参加申し込みの際このセミナーがあることに気付けなく知人から聞いた

JWOCM からの情報提供があるとよかった

### 3) 今回のセミナーの満足感



上記回答の理由：今後の活動に生かせる内容であった 4

昨年も参加したが、何度聞いても学びがある、忘れかけていたことを再認識できた 4

質問もでき、とてもよかった

壊死組織除去、局所陰圧閉鎖療法についての話が面白く勉強になった、振り返りだけでなく新しい知見も学べた (Red Ring Sign のことなど) 3

壊死組織除去・陰圧閉鎖療法は少し難しかったが、経験のない症例を見ることができよかった

NP だが特定行為に関する授業はほとんどなく、重症下肢虚血と褥瘡の見分け方を知ることができ非常に勉強になった

看護師の特定行為のこれからや、実際の活動を知ることができとても勉強になった 7

実践的な松岡さんの話にて病院内で特定行為ができるように進めようと思った

どのように特定行為を行っていくか、どう動いたらよいかわからなかったがヒントをもらえた

他施設での取り組みが聞けてよかった

壊死組織除去・陰圧閉鎖療法の話は昨年と違う話も聞きたかった 2

昨年と同じ内容とは知らなかった

外来所属で係る症例が少ないので、外科術後や周手術期の症例などの話が聞きたかった

### 4) 今後のフォローアップセミナーで取り上げてほしい内容

特定看護師の実際の活動 4：組織内での活動を進めていくノウハウなど

(研修終了後、何でもできると思う人もいる中、できない・ということに罪悪感を覚えることもあると思う。行為の中でできることを考え役割を果たしていきたい。)

実践の場での指導内容 (特定看護師の実習指導の際の指導をする立場や指導の在り方)

病院内への多職種だけでなく患者さんにも特定行為を広めるための活動の実際が知りたい SSI について

特定看護業務検討委員会での検討内容について詳しく知りたい

コストパフォーマンスや費用対効果、薬剤の処方や選択リスクについての権限拡大について他施設医師と連携している例など知りたい

地域連携について

お金のことや医師との調整など具体的なことを知りたい

在宅で特定行為を行った時のコストの取り方や現状について

うまくいかなかった事例などについても知りたい

陰圧閉鎖療法を始めるタイミングやフォームファイラー・コットンファイラーの選択やカット方法

実践を踏まえたスキルアップセミナー

実技セミナー：NPWTの実習、簡易ポータブルエコーの使用 6

特定行為研修修了者のフォローアップとして各施設での実践の現状報告など問い合わせをすることで、活動が円滑でない施設には刺激になると思う。

5) 参加者の褥瘡学会会員の割合と非学会員である場合の入会の意向について、など

① セミナー参加者の日本褥瘡学会会員数 57名

日本褥瘡学会に入会しようと思う 9名

日本褥瘡学会に入会しようと思わない 8名

無回答 25名

② 入会しようと思わない理由について

他の学会にも所属している

認定NSではなくNDCのため

WOCNでなく褥瘡対策などをメインに活動しているわけではないため

学会員にならなくても学術集会に参加すればセミナーに参加できるから 2

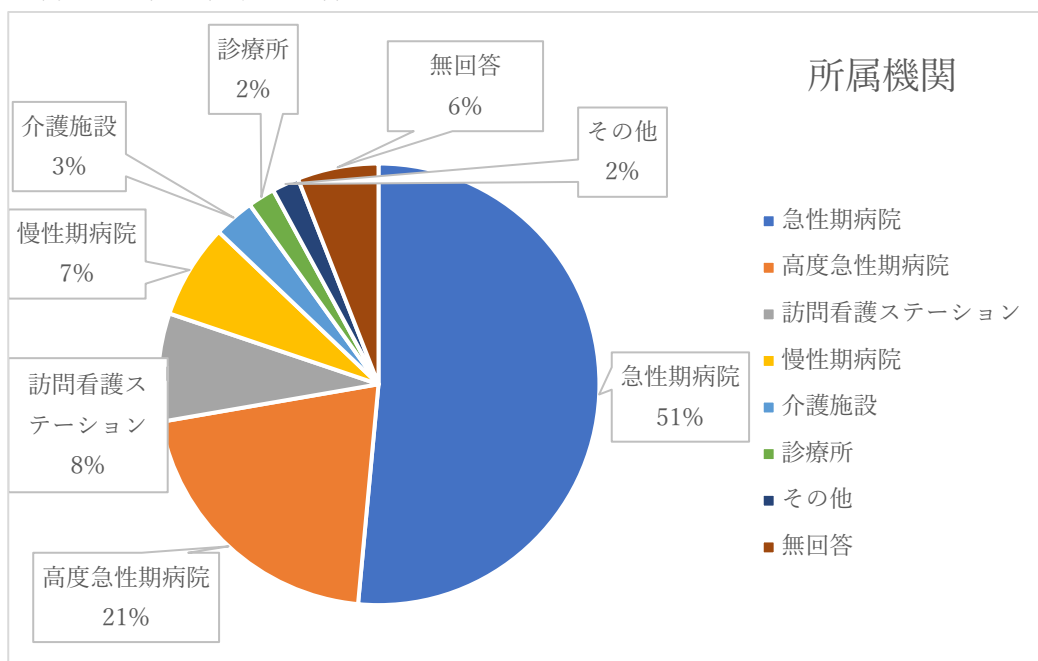
③ 2000円の参加費用について

高すぎる 0名 参加しやすい 49名

安すぎる 2名 無回答 48名

## 2. 特定看護師としての活動について

### 1) 所属する施設の種類や部署など



2) 特定看護師としての活動や業務の実践

実践している 66名 実践していない 22名 その他 3名 無回答 8名

特定看護師としての実践内容：

2-2) いると答えた方、具体的な内容を記載してください。 特定看護師としての実践内容；	個数
デブリ	48
NPWT	40
抜糸も含めた創傷管理	5
ドレーン抜去	4
気管カニューレ交換	3
ドレッシング剤の選択や変更	3
薬剤の選定や変更の提案	3
抜鉤	3
血糖コントロール：インスリン調整など	2
輸液管理・脱水の補正	2
縫合	2
局所麻酔	2
膀胱瘻交換	2
切開排膿	1
不良肉芽焼灼	1
感染時の薬剤投与	1
	122

3) 特定看護師としての活動を妨げるものや課題について

2-3) 特定看護師としての活動を妨げるものや課題についてなど自由にお書きください。	分類
在宅医の認識不足	在宅医の認識不足
基盤を作る時間が確保できない	施設の認識不足 時間が確保できない
看護部からの活動制限:他の NS ができないことをされては困るが、医師からの依頼は受けなさい・・・	看護部の認識不足 看護部からの制限
在宅医の認識不足で説明に時間がかかる	在宅医の認識不足
訪問看護ステーションの設備不足?	施設の設備不足
周囲の人の認識不足 自身の手技が未熟	周囲の人の認識不足 自身の技術未熟
皮膚科・形成外科など専門医がない	施設の人材不足
周囲の施設や院内の医師・看護師に周知できていない	情報提供不足
上司・先輩看護師の理解がない	施設の認識不足 情報提供が不十分
指導医に時間がない	施設の認識不足 人材不足
看護部の認識不足	看護部の認識不足
在宅に出ること期待されているし出たいが看護師不足	看護師の人材不足:認定をとった方が動ける?
施設の認識不足 通常業務に追われどう活動すべきか	施設の認識不足 活動時間が確保できない?
施設の認識不足	施設の認識不足
医師の行為内容を理解していない(誰が?)	施設の認識不足
病棟勤務で組織横断的に動けない	看護部の認識不足 看護師不足
特定行為(デブリや NPWT など)を医師にさせたいという施設の方針や自分たちで実施したいという医師の思い	医師の認識不足:特定行為を推進すること
特定看護師を活用する必要があるという看護部の方針	看護部の認識不足:特定行為を推進すること
看護部の理解がない、安全の担保が問題	看護部の認識不足⇒安全担保の問題
看護部担当者が医局で特定看護師に丸投げでよいと言ってしまう	看護部の認識不足
特定看護師として今後の方向性など伝えるが看護管理者の理解がなく話の折り合いがつかない。医師は協力的	看護部の認識・理解不足
病院から地域(施設や在宅)に出るときのコストの問題	院外での活動の報酬が得られない
医師の特定行為に対する認識不足、医師が手順書の発行に関して拒否的(責任問題)	医師の特定行為に対する認識不足・協力不足
在宅の医師にうまく特定行為について説明できない為、理解を得られない。	医師の特定行為に対する認識不足・説明不足
組織の理解不足、手順書作成が進まない	組織の特定行為に対する認識不足・協力不足

通常業務に追われ研鑽時間が確保できない	通常業務や役割が多い
特定行為に関する説明不足・理解不足⇒広報不足	組織の認識不足や説明不足
業務量が多い	業務量が多い
医師と一緒に動く(信頼関係がない?)	医師の特定行為に対する認識不足
医師と看護部の認識の違い 看護部長の方針	組織の特定行為に対する認識や職種による方針の違い
特定看護師を目指すNSがない	人材不足
多忙であるし、看護部との方針の違い	看護部の認識不足:特定行為推進意識がない
デブリを必要とする褥瘡ケースがない	創傷関連の特定行為適応患者がない
対象ケースがない中、研修受講者を増やすことが困難	特定行為研修修了者のニーズがない
WOCの活動もあり、多忙	多忙
他病棟への依頼に答える時間の確保が困難	多忙 役割が多い
褥瘡管理者、看護外来など担当、コンサルテーションを受けながら特定行為も実践するので時間が無い	多忙 役割が多い
看護学生にインターンシップで話をしたが特定看護師のことを全く知らなかった	特定行為の周知不足・広報不足
病院として特定看護師への理解不足	組織の特定看護師への理解不足
手順書に沿っての活動はできておらず、安全管理体制に問題あり	安全管理体制の問題
特定看護師の専従ではないので時間の確保が困難	時間の確保が困難 多忙
医師特に在宅医に制度を理解してもらえない	医師の認識・理解不足
院内管理者の認識不足	組織の認識不足
フリーでないためタイムリーな介入が困難	役割が多く多忙 時間の確保が困難
褥瘡管理者と病棟NS兼務のため仕事量が多い	多忙 役割が多い
活動に対して組織の理解が得られない	組織の認識不足や方針の問題
自分の業務に追われ余裕がない	役割が多く多忙 時間の確保が困難
看護管理者の理解不足	看護部の理解不足
介護施設のため診療報酬がとれない	職場の特性により診療報酬が取れない
特定看護師を育てる組織の土壤ができていない	組織の土壤の問題
病棟勤務で活動時間がなくタイムリーな対応ができない	役割が多く多忙 時間の確保が困難
包括指示の出し方があいまい	システムづくりが大変 時間がかかる
特定行為開始までのシステムづくりが大変	システムづくりが大変 時間がかかる
介護施設のため特定行為を提供する対象がない	職場の特性により行為を実践する対象がない
開業医との連携拡大をどうするか	開業医との連携拡大の問題
老健や特養などへの介入時の診療報酬の問題	地域の施設などへの介入時の診療報酬

他の特定領域との連携	他の特定領域との連携の問題	
手順書が全く活用されていないこのままでよいのか不安	システムづくりが大変 時間がかかる	
特定行為を進めるための委員会もない	システムづくりが大変 時間がかかる	
スキルアップするための指導医と評価方法について	システムづくりが大変 時間がかかる	
看護部長が特定行為に反対	看護部の認識・理解不足や方針の問題	
医師の理解がなく負担軽減のために活用しようとしていない	医師の認識・理解不足	
組織の認識不足		13
看護部の認識不足		10
業務量が多い 多忙		10
医師の認識・理解不足		8
システム作りが大変 時間がかかる		6
忙しくて時間が取れない		6
施設の人材不足		5
情報提供不足		4
安全担保の問題		3
院外での活動の報酬が得られないなど		3
創傷関連の特定行為の適応患者がいない		2
特定行為研修修了者のニーズがない		1
施設の設備不足		1
自身の技術が未熟		1
開業医との連携拡大が問題		1
		74